この街が好きだから

大須賀一雄　武蔵野スケッチ物語 ㊺

見慣れた風景も、絵になるとちょっと違う趣が出てきます。
そんな武蔵野の風景を、大須賀一雄さんが春夏秋冬で切り取って描きます。

吉祥寺南町4丁目にて

この作品は、私が住む桜堤とは対極に位置する吉祥寺南町で描いたものである。

絵を描いているとき、外国人女性を見かけたことから、ふと三十年程前の中央線で通勤中での出来事を思い出した。私の隣にいた外国人女性に英語で話しかけたところ、女性はアメリカ人でテキサス州からやってきて、立川に行くところだとのこと。さらに、住所はサンアントニオ市と云うので、私のペンパルも同市在住だと云うと、目を丸くしてどの様な人かと訊くので、軍の病院に勤めていると答えると、彼女も同じ病院に勤めているという。名前を訊かれて、M女史と云うと、彼女は体全体で驚きを示して、自分の同僚だと云うではないか。本当に驚きました。まさか、地球の裏側から来た人が、私の友人の知り合いだったとは…。今でも、旅行中などに、予期せぬ出会いがあると期待している自分である。

（絵と文　大須賀一雄）

大須賀 一雄（おおすか・かずお）
水彩画家。1937年群馬県出身。武蔵野市在住。画材は透明水彩。元JR東日本国際課勤務。JR東日本絵画クラブ初代事務局長。これまでJR東日本の駅の絵を1000点以上描き、新聞、雑誌、テレビなどでも紹介されている。著書は『あなたの街の駅物語』（日貿出版社）、『スケッチお手本帖』（素朴社）ほか。現在、JR東日本の大人の休日倶楽部のカレンダーの絵を担当。海外スケッチ旅行歴も長く、これまで50カ国以上を訪れ、個展も25回を超える。

大須賀一雄　透明水彩の世界展　会期：平成24年9月27日(木)～10月3日(水)　会場：東急百貨店吉祥寺店8階美術サロン